

京都産婦人科医会
コメディカル研修会 2015 のご案内

日時：平成 27 年 12 月 9 日（水）

場所：京都府医師会館 6 階 601・602 会議室 〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町 6

14：00～14：40 「妊娠中の漢方治療」

こじまレディースクリニック 院長 小島 秀規 先生（日本東洋医学会専門医）

講師からお誘いのことば

妊娠中の女性には漢方薬を使用されることが多く、保険診療で認められている製剤もたくさんあります。気血水という比較的簡単な東洋医学の考え方の解説と妊娠中の女性になじみ深い漢方処方の解説をいたします。ドクターの参加も大歓迎です。漢方治療を少しでも知って、患者さんへの服薬指導の助けになれば幸いです。また今回もご自身の体の不調など質問も受け付けますので、参加される方は日頃悩んでいる症状や自分の体質を事前に整理してください。（例：冷え性、便秘、頭痛、脚がむくみやすい・・・）

14：45～15：25 「母体急変時の初期対応」

橋井産婦人科 院長 橋井 康二 先生

講師からお誘いのことば

母体死亡は 40 から 60 名と先進国の中でも非常に優れたものです。日本産婦人科医会より刊行されている「母体安全への提言」では、さらにこの数字を限りなくゼロに近づけるために、胎児心拍モニターと同様に母体のバイタルサインの観察の必要性を提言しています。今回は、基本的なバイタルサインから母体の危険をどのように察知し、いかに対応するかについてお話をします。

15：30～16：10 「これであなたも不妊治療スタッフ」

醍醐渡辺クリニック 院長 渡邊 浩彦 先生

講師からお誘いのことば

「不妊治療で何かむつかしそう…。」そういう貴女に不妊治療の ABC から分かりやすく説明します。前半は、基本検査とはどういう項目でいつの時期に行うのか？各検査のポイントとは？血液検査で何がわかるのか？最近よく言われる卵巣年齢と抗ミュラー管ホルモンとは？歳をとるとどうして妊娠しにくくなるのか？等々についてお話し、後半は、一般不妊治療の実際と注意点について、排卵誘発剤のメリットなどを解説します。この研修会に参加すればあなたも、お友達や知り合いから不妊について聞かれた時、困らずに相談に応じることができるでしょう。

コメディカル研修会受講申込書

施設名 _____

お名前 _____

FAX 075-572-1484（醍醐渡辺クリニック）